(第1回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和6年12月27日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所 東京本社
契約業者の住所	東京都中央区日本橋浜町3-21-1
業務の名称	R 5 関東地方整備局管内 7 水系洪水予測精度向上検討業務
業務場所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	1. 河川水位予測精度の向上検討(河川施設(ダム、遊水地)における精度検証) 洪水予測プログラムの放流量と実績の放流量等の比較等を実施するための資料を収集する。 2. 中継サーバへのデータ送信 関東管内水位表示システムで予測結果を表示するため、中継サーバへのデータ伝送を実施する。 3. RRIモデルのインストール R7年度からの水位予測モデルプログラム(RRIモデル)の運 開開始に向けたインストール作業及び動作確認を実施する。 4. 表示システム登録データの更新 水害リスクラインの零点高等の登録データの更新を実施する。 5. 情報共有システムの活用 業務の効率化を目的とした情報共有システムの活用を行うこと。 6. 履行期間 令和6年3月27日から令和7年2月28日までとする。
履行期間(自)	令和6年3月27日
履行期間(至)	令和7年2月28日
変更前の契約金額	126, 896, 000 円 (税込)
変更金額	24,464,000 円 (税込)
変更後の契約金額	151,360,000 円 (税込)
変更理由	1. 河川水位予測精度の向上検討(河川施設(ダム、遊水地)における精度検証) 洪水予測プログラムの放流量と実績の放流量等の比較等を実施することとしていたが、資料収集状況より実施困難となったため、検証実施実績を踏まえ精算する。 2. 中継サーバへのデータ送信関東管内水位表示システムで予測結果を表示するため、中継サーバへのデータ伝送が必要となったため、増工する。 3. RRIモデルのインストールR7年度からの水位予測モデルプログラム(RRIモデル)の運用開始に向けたインストール作業及び動作確認の必要があるため増工する。 4. 表示システム登録データの更新水害リスクラインの零点高等の登録データの更新が必要となったため増工する。 5. 情報共有システムの活用業務の効率化を目的とした情報共有システムの活用を行うこととしたため、システム利用について増工する。 6. 履行期間R7年度からの水位予測モデルプログラム(RRIモデル)のインストールが必要なため、以下のとおり工期を延長する。当初:令和6年3月27日から令和6年12月27日まで第1回変更:令和6年3月27日から令和7年2月28日まで